

肥満症外来（自費診療、初診平日完全予約制、20歳以上）

- 肥満症の基本は食事療法と運動療法にあり、薬物治療を受ける際にも平行して継続する必要があります。当外来ではこれらの基本指導に加え薬物療法を使用した肥満症外来を開設いたしました。
- 肥満症治療は副作用のリスクなども伴うため、治療開始前には医師との十分な相談が必要です。
- 当院では自費診療で初診は平日（表1）完全予約制、20才以上で医師の指導に従える方のみの処方となります。
- 当院では美容を目的とした処方は行っておりません。
- BMI35以上の方
- BMI27以上かつ肥満に関連する健康障害を2つ以上併せ持つ方。（表2）
- 妊娠・授乳中の方は処方できません。

〔治療方法〕

- 食事・運動療法：基本的にどの方法を選択しても平行して継続する必要があります。
- 薬物療法
 - ・食欲抑制内服薬：マジンドール（®サノレックス）は食欲にかかる神経に働きかけることによって食欲を抑え、食欲抑制効果、減量効果が期待できます。BMI35以上の方は保険適応もありますが最大3ヶ月処方、内服開始1ヶ月で効果がない場合は中止となります。
 - ・漢方薬：中医学（漢方）では、肥満は食べ過ぎや運動不足のほか体調不調があり、太りやすい体質になっている状態と考えます。粉薬、煎じ薬の処方と2パターンとなりますので煎じ薬の場合は煮出して飲んでもらう方法となります。
 - ・持続性GLP-1受容体作動薬（自己注射薬ウゴービ）：肥満症治療薬として保険診療で使われておりますが、保険診療で処方するためには施設基準が厳しく総合病院などでしか処方できません。そのため、当院では自費診療で処方いたしますが、BMI35以上もしくはBMI27以上で肥満に関連する健康障害を2つ以上併せ持つ方のみとなります。

ウゴービ皮下注 0.25 SD 1本 3300円（税込み）
0.5 SD 1本 6600円（税込み）
1.0 SD 1本 9900円（税込み）
1.7 SD 1本 13200円（税込み）

〔肥満症外来の流れ〕

1. 初診

・お電話にて予約いただく（電話可能時間：平日木曜以外の 14 時～15 時半、診察時間
月・水・金 11 時半～12 時半、16 時半～17 時半 木 11 時半～12 時半 診察の状況で
待ち時間あり）

・予約日に受診していただく

・身長・体重測定、体組成測定（inBody）、血液検査、尿検査

・初回診察・相談・次回の予約

2. 2回目（初診の翌日以降）

・診察（再診）（血液検査の結果説明など）、処方開始

3. 3回目以降（2週間～1ヶ月後）

・診察（再診）、食事指導、ウゴービなど処方継続・增量

4. 4回目以降

・原則毎月受診していただく 3～4ヶ月に1回採血等実施

初診料 4400 円 再診料（2回目以降） 1100 円（税込み）

体組成測定（inBody）、血液検査、尿検査 3300 円（税込み）

※1年以上受診が無かった場合は初診扱いになります。

（表 1）

電話予約可能時間：平日木曜以外の 14 時～15 時半、

診察時間 月・水・金 11 時半～12 時半、16 時半～17 時半

木 11 時半～12 時半 診察の状況で待ち時間あり

（表 2）

肥満症に関する健康障害

① 耐糖能障害（2型糖尿病・耐糖能異常など）

② 脂質異常症

③ 高血圧

④ 高尿酸血症・痛風

⑤ 冠動脈疾患

⑥ 脳梗塞

⑦ 非アルコール性脂肪性肝疾患

⑧ 月経異常・不妊

⑨ 睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群

⑩ 運動器疾患（変形性関節症、変形性脊椎症）

⑪ 肥満関連腎臓病